

在宅看護学演習

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 宮本 郁子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座、看護学部		
対象学年	3	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

在宅療養者の居宅を訪問する技術を学び、療養者や家族の生活様式や価値観を尊重した態度を習得する。その上で、療養者の必要性に応じた日常生活援助の方法を学び、その基本的技術を習得する。また、医療的ケアの必要な療養者に対しては、病状の把握や医師の指示を確認した上で、医療機器の管理や家族が行うケアの手技を指導することを理解する。実習室（居宅）等を活用した演習を中心に行い在宅看護方法の実際を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

在宅療養者に対する訪問看護の基本を学修し、日常生活援助や医療機器の取り扱いなどの訪問看護技術を理解し、訪問による支援について説明できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：3.4.5.

・到達目標（SBO）

1. 在宅療養者宅や施設への訪問を想定したコミュニケーションを実施できる。
2. 在宅療養者および家族に対して、日常生活援助を実施できる。
3. 在宅療養を続ける中途障害者への支援を説明できる。
4. 医療依存度の高い在宅療養者と家族への支援を説明できる。
5. 在宅療養支援施設（訪問看護ステーション・地域包括支援センター等）の具体的な機能、役割を説明できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 3-B 実習室、マルチ 4-A 講義室

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/3	水	2	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	在宅療養者への訪問技術 ・在宅療養者宅への訪問看護について望まれる姿勢・態度が理解できる (ロールプレイ)
4/4	木	3	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	在宅療養者の日常生活を支える技術1 ①在宅看護過程事例展開演習 ・食事・栄養、排泄、清潔、移動等についてアセスメント方法が分かる
4/4	木	4	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	在宅療養者の日常生活を支える技術1 ②在宅看護過程事例展開演習 ・食事・栄養、排泄、清潔、移動等における看護課題が抽出できる
4/15	月	3	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	在宅療養者の日常生活を支える技術2 ①在宅看護過程事例展開演習 ・経管栄養法(胃瘻、腸瘻、経鼻)、中心静脈栄養法、膀胱留置カテーテル、ストーマ等在宅における医療管理を必要とする療養者への看護が説明できる

4/15	月	4	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	在宅療養者の日常生活を支える技術 2 ②経管栄養シミュレータによる在宅看護演習 ・シミュレータ体験により、主に栄養に関する在宅療養者への看護が理解できる
4/22	月	3	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	中途障害者への援助技術 ①在宅看護過程事例展開演習 ・中途障害者の、退院から在宅療養までの支援を説明できる ・住宅改修、福祉用具貸与等、社会資源サービスの利用を理解できる ・今後の社会参加や QOL の視点を理解できる
4/22	月	4	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	中途障害者への援助技術 ②在宅療養時の援助技術 ・褥瘡予防ができる ・排泄ケアの管理・指導ができる ・日常生活の安全管理を説明できる ・生活リハビリテーションを考えることができる
5/9	木	1	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	医療依存度の高い療養者への援助技術 1 ①在宅看護過程事例展開演習 1 ・医療依存度の高い患者の、療養の場の移行に伴う看護（在宅療養準備期・移行期・安定期・急性増悪期・終末期）の支援を説明できる

5/9	木	2	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	医療依存度の高い療養者への援助技術1 ②在宅療養者への援助技術1 ・在宅フィジカルアセスメントができる ・血圧計・パルスオキシメータ・吸引等在宅看護に必要な看護技術を実施できる
5/14	火	3	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	医療依存度の高い在宅療養者への援助技術2 ①在宅看護過程事例展開演習2 ・在宅療養者の家族への支援を説明できる (グループワークと発表)
5/14	火	4	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	医療依存度の高い在宅療養者への援助技術2 ②在宅療養者への援助技術2 ・在宅での感染予防ができる ・在宅医療機器の管理を理解できる (グループワークと発表)
5/23	木	1	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	訪問看護ステーション利用者への援助技術 ①訪問看護ステーション利用者への援助技術 ・訪問看護ステーションの機能と役割を説明できる ・訪問看護ステーションに関する法制度を説明できる ・訪問間のサービスのしくみと提供を説明できる (グループワークと発表)

5/23	木	2	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	訪問看護ステーション利用者への援助技術 ②訪問看護ステーション利用者 在宅看護過程事例展開演習 ・訪問看護サービス計画書を作成する ・社会資源とその連携を理解できる (グループワークと発表)
5/27	月	3	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	地域包括支援センター利用者への援助技術 ・地域包括支援センターの機能と役割を説明できる ・地域包括支援センターに関連する法制度を説明できる (グループワークと発表)
5/27	月	4	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	宮本 郁子 教授 野村 陽子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	地域包括支援センター利用者への援助技術 ・地域包括支援センター担当エリアと社会資源を説明できる ・社会資源とその連携状況を理解できる (グループワークと発表)

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 ② 在宅療養を支える技術	臺 有桂 他編	メディカ出版	2019
教	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論	川原加代子 他	医学書院	2018
参	看護学テキスト NICE 在宅看護論 改訂第2版	石垣和子・上野まり 編	南江堂	2017

参	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 ② 在宅療養を支える技術	臺 有桂 他編	メディカ出版	2019
推	強みと弱みからみた在宅看護過程	河野あゆみ	医学書院	2018

・成績評価方法

定期試験 70%、指定した提出課題 30%の合計 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

教科書等で事前学修をして演習に臨むこと。また在宅看護学概論、在宅看護方法論で学んだ内容を復習して演習に臨むこと。演習終了後は学んだ内容をまとめ、理解不足の内容は自ら調べる。予習復習は各回 30 分以上を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

講義に加えてグループワークによる演習を行う。指定した演習課題については、原則として講義時間内に提出することを求める。なお提出された課題については、内容に応じて講義内で適時フィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援
看護師（別表 3）：統合分野 在宅看護論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	スライド投影
演習	書画カメラ（P-100）	1	演習および学生のグループ発表時資料投影
演習	DVD（ブルーレイおよび一般 DVD）	1	講義時資料投影
演習	経管栄養シミュレータ器具セット	7	シミュレータを活用した技術習得のため